

## “考える読書”に一読書週間を迎えてー

秋が深まっています。今週は雨が続くことが予想されています。日中でも寒い日があるかもしれません。体調の管理にはくれぐれも留意してください。

さて、「読書の秋」という言葉があります。文化の日をはさんで前後の2週間。10月27日(日曜日)から11月9日(土曜日)までが読書週間となります。「読書の力によって平和な文化国家を創ろう」という願いのもと、1947年に設けられました。今年は第78回目となります。

みなさんも知っているように、「読書体験」という言葉があります。自分ができる体験は限りがありますが、読書によって、様々な人々の体験から多くのことを学び、感じ、心に刻むことができます。読書は出会いの体験の機会ともいえます。著者との出会い、主人公との出会い、そして、今、本を読んでいる自分自身との出会いです。

今まで知らなかった世界のできごとや人々の生き方と出会うことで自分の世界や夢、可能性を広げていくことにつながるでしょう。このことが、自らの進路を考える上で、貴重な体験になるかもしれません。一日に10分でもいいですから、また、1ページでもいいですから、読書体験を重ねてほしいと思います。

読書を通して出会いを深めるために、「考えること」が大切だと思います。そのために、「書く」という方法を提案したいと思います。

「印象に残った文章をノートに書き写す」「気づいたことを自分の言葉でメモしておく」というような方法があります。「書くこと」で、読書体験がより深く心に刻まれるのではないか。

今年の「読書週間」の標語は「この一行に逢いに来た」です。

田辺中学校の図書館には、約1万三千冊の本がそろっています。本のタイトルや背表紙を眺めるだけで読書は始まっています。

「一冊の本」「一行」との出会いを大切にしていってください。